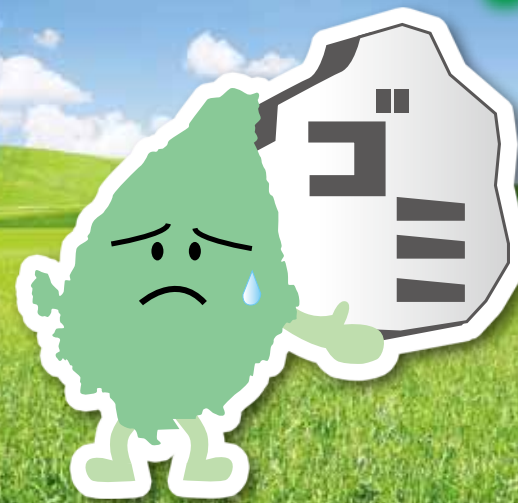


遅れている本市のごみ減量 今すぐ取り組もう 「3R」



リデュース
203位
243都市

リサイクル
190位
243都市

3R リデュース Reuse リサイクル Recycle

①リデュース【出さない】



マイバック
を使う

②リユース【繰り返し使う】



フリーマーケット
や中古品販売
店の活用

③リサイクル【再資源化する】



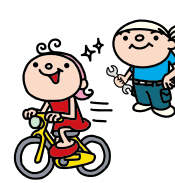
ごみをきちんと
分別する



包装を断る



詰め替え用
の利用



修理して繰り返し
使う



リサイクルされ
た商品を選ぶ

なぜ減らす必要があるの？

年間処理費は42億円

ごみを処理するには莫大なお金がかかります。昨年の本市のごみ処理費は約42億円。1人当たり約1万2,000円の税金が必要だった計算です。

ごみを減らすことは処理費の削減につながります。削減分は他の行政サービスに使うことができ、暮らしやすいまちになるという好循環を生むことができます。

？ どうすれば減らせるの？

3Rに取り組もう

昨年、市民が1日に出したごみの量は1人1,080g。全国平均の976gとは約100gの差があり、ことしはさらに増加傾向にあります。

まずは3Rに取り組む、ごみを1日100g減らすことから始めましょう。100gの目安は卵2個分です。特にリデュースに積極的に取り組むとより一層効果があります。3Rに取り組むと、年間1万2,000g以上のごみを減らすことができます。処理費に換算すると約4億6,000万円節約することができ

ます。

誰でも「きれいで暮らしやすいまちに住みたい」と思いますよね。そのためには、みんながごみを減らす努力をする必要があります。一人一人の力は小さくても、積み重ねることで大きな効果が生まれます。みんなの取り組みで「きれいで暮らしやすいまち・前橋」を実現していきましょう。

10月から始めます 古紙の分別収集

これまで可燃ごみと一緒に捨てられていたことの多かった紙類。これらを資源として活用できるように、10月から集積場所での分別収集を始めています。試験的に収集を開始している地域では、古紙回収量が前年より38・3%増加しました。



可燃ごみと紙類の分別を徹底することで、ごみを1日100g減らすことも可能です。

出せる物：新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、雑古紙
回収日：古紙の日
集積場所：可燃ごみと同じ場所へ

注意：紙以外は取り除き、ひもで十字に縛る。飲食店や事業所の古紙は出せません
■有価物集団回収（廃品回収）を優先して

本市は市民主体のごみ減量運動を推進しています。そのため古紙分別収集開始後も、地域の有価物集団回収と市有



紙リサイクル庫

有価物集団回収

古紙分別収集

取り組んでいます 私の「3R」



荒牧町

射場 大地さん

大学の講義を受けるなど、外出するときはいつもタンブラーに飲み物を入れて持ち歩いています。これで缶やペットボトルがごみとして出なくなりました。



北代田町
豊島 知子さん(右)
上小出町二丁目
小桐 和子さん(左)

私たちは家のごみ箱の横に雑古紙用の紙袋を置いて分別しています。可燃ごみと古紙を徹底的に分けると、ごみの量ってすごく減るんですよ。



岩神町三丁目
下田 基一さん

生ごみはなるべく水分を取って出すようにしています。これで匂いも重さもかなり減りますね。この方法は近所の人にも広めています。